

臨床美術学会 第15回大会 2024

開催要項

大会テーマ

新たな社会を共創する臨床美術

2024年11月16日（土）・17日（日）



臨床美術学会

The Society for Clinical Art

臨床美術学会 第15回大会 2024

大会テーマ

新たな社会を共創する臨床美術

- 大会長 木戸 修
(彫刻家 臨床美術学会会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)
- 日時 11月16日(土) 12:00~16:00
※18:00~ 懇親会(別会場・オプション)
- 11月17日(日) 9:30~12:40
- 開催方法 対面/オンライン同時開催
※オンライン参加の方は一部プログラムが異なります
- 場所 TOPPAN ホールディングス株式会社 神田和泉町ビル
- 主催 臨床美術学会
- 共催 日本臨床美術協会 / TOPPAN 芸造研株式会社
- 協賛 TOPPAN ホールディングス株式会社

大会長挨拶

木戸 修

(彫刻家 臨床美術学会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

本年度の学会大会は対面とリモートで行います。ここ数年は新型コロナウイルス蔓延の影響でリモートのみで大会を開催してきましたが、久しぶりに皆さんに集まっていただき大会を開くことができます。もちろん新型コロナウイルスは未だに発生していますので感染には十分注意して大会を進めていきたいと考えています。リモートでも開催している長所を活かしつつ、対面ならではの研究発表や懇親会などのプログラムで情報共有を有効に活用し、充実した学会活動を更に推し進める集まりになることを願っています。

今回の大会テーマは「新たな社会を共創する臨床美術」です。漢字の創は新しく何かを作り上げる時に多く用いられます。臨床美術の始まりも共創でした。医学、福祉、美術、マネージメントの各分野の専門家が集まり 1990 年代に新たな構想として臨床美術の概念を立ち上げ実際に行動へと繋げてきました。その後は一層の充実を図るべく日本臨床美術協会、臨床美術学会の創立へと発展しました。今回の大会テーマ「共創」はさらに広く臨床美術の活動範囲を広げ現在の社会状況に、より一層必要とされる様々な分野での要求に応えるべく基調講演、シンポジウム、研究発表、自主シンポジウムなどを行います。

基調講演では独創的なプログラム「旅するムサビ」の活動を始めた武蔵野美術大学教授三澤一実先生にお願いし、幅広い美術教育を実践している活動を、演題「旅するムサビと美術教育」のもとお話しいただきます。大会シンポジウムでは「新たな社会を共創する臨床美術のコアバリュー」をテーマとして様々な分野で従来の枠を超えて活動している方々の講演と討論を行います。座長は保坂遊（東京家政大学教授 臨床美術学会副会長 臨床美術士）、シンポジストに渡邊嘉行（認定非営利活動法人キッズアートプロジェクト理事長 総合川崎臨港病院理事長）、濱野良太（株式会社博報堂 テーマプラットフォームビジネス局ビジネスプロデューサー 臨床美術学会理事）、平本かおり（東京都板橋区立中根橋小学校教諭 図工専科 臨床美術士）の各氏が登壇し、三澤先生にも参加していただきます。それぞれの分野での秀逸な活動報告を聴くことは楽しみです、臨床美術の今後の活動に重要な示唆を与えてくれることと思います。ポスター発表展示や自主シンポジウムでの発表では多くの臨床美術士の幅広い貴重な活動の一端が伺えるのではないかと期待しています。学会大会の開催によって臨床美術が、自由な発想のもと更に展開発展し、世の中に大きく貢献する活動になることを願っています。

雑記

2024年1月1日に能登半島地震が発生し甚大な被害をひきおこしました。輪島の朝市道路の大火の惨状は眼を覆うばかりで倒壊したビルも未だにそのままです。

私の叔母は輪島市の郊外の高台の小さな集落に住んでいました。近くの3軒の家は全壊しました。叔母の家は倒壊は免れたものの、家が傾き玄関などの引き戸は閉まらなくなり、部屋の土壁は剥がれ落ち眼下に広がる日本海が見える状態で、タンスなどの家具は倒れ家財道具が散乱する惨憺たる様相です。幸い怪我は無かったものの集落に通じる海岸沿いの道路が崩落したため孤立状態で閉じ込められました。電気も切れ水道も止まった状態で正月用の餅を石油ストーブで焼き、裏山の湧水で飢えをしのぎ数日後に山道を夫と2人でやっとのことで歩いて下り、海岸沿いの崩落した道路わきの海のなかを歩き、遠くの町から迎えにきた息子と合うことができました。その後は輪島市から100キロほど離れた金沢市に近い内灘町の親戚の家の部屋を借りて、輪島市門前町の家が全壊した娘夫婦と孫2人と共に合わせて6人で避難生活を始めました。3か月後に6人は輪島市から70キロほど離れている羽咋市でようやく一軒家を借りることができました。孫2人は羽咋市の小学校と中学校に通い始め、輪島市の職員である親2人は市役所の避難所で寝泊まりして時々羽咋市に帰ってくる、そして祖母夫婦が孫の面倒を見るという生活が続きます。6月になり娘夫婦家族は輪島市の仮設住宅に入居出来ましたが、家族4人で四畳半が二間の仮設住宅です。子どもたちはようやく親しくなった羽咋市の友達と別れ輪島市の学校に戻りますが、生徒数は大きく減っていて寂しい思いをしたようです。親たちの輪島市への通勤はトンネルが崩壊しているため通常の道路が使えず未だに困難が続いています。叔母夫婦の輪島の家は7月に入りやっと水道が開通しました。しかし家の修理を頼む大工は、大工本人の家も全壊しているなか多くの仕事を頼まれていて必死に仕事を続けていますが、叔母夫婦の家の修理は当分先になるようで叔母たちが輪島の家に戻って生活が始められるのはいつになるのか、全く見通しが立っていません。叔母夫婦や娘家族たちの心身に7ヶ月の過酷な生活の疲労が蓄積しているかと思うと心配です。

能登半島地震では300人以上の方が亡くなり、そのうち避難生活のストレスや疲れで亡くなる災害関連死の人は100人を超え、更に増えると言われていています。7ヵ月たちましたが復旧は遅々として進まず、道路の復旧や水道施設の整備、その他インフラの回復などまだまだ困難な状況は未解決です。全半壊した建物の解体は2%しか完了していません。避難生活のストレスや疲れで健康を害する心配な状態は続いています。けれども大変な状況の中で暮らしているにも関わらず、多くの人たちが復旧に大変な努力を重ねています。復興にはまだまだ長い歳月がかかります。その方々の努力に少しでも協力することが必要だと思っています。

2024. 8. 4 記

臨床美術学会 第15回大会 2024 ご案内

大会テーマ

新たな社会を共創する臨床美術

開催日程 2024年11月16日(土) 12:00~16:00
※18:00~ 懇親会(別会場・オプション)

11月17日(日) 9:30~12:40

※9:30~10:30 ポスターセッションのオンライン配信はありませんが、
発表資料は11月16日に参加者全員に共有いたします

大会長 木戸 修
(彫刻家 臨床美術学会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

開催方法 対面/オンライン同時開催

場 所 TOPPAN ホールディングス株式会社 神田和泉町ビル(対面)

主 催 臨床美術学会

共 催 日本臨床美術協会 / TOPPAN 芸造研株式会社

協 賛 TOPPAN ホールディングス株式会社

11月16日(土) タイムテーブル

時 間	内 容
11:30~	受付
12:00~12:10	開会式
12:10~13:40	基調講演:「旅するムサビと美術教育」 三澤 一実 (武蔵野美術大学 教授)
13:40~14:00	休憩(20分)

14：00～15：50	<p>大会シンポジウム「新たな社会を共創する臨床美術のコアバリュー」</p> <p>座長 保坂 遊 (東京家政大学 教授/ 臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長)</p> <p>コメンテーター 三澤一実 (武蔵野美術大学 教授)</p> <p>シンポジスト 渡邊 嘉行 (認定非営利活動法人キッズアートプロジェクト 理事長)</p> <p>濱野 良太 (株式会社博報堂/臨床美術学会・日本臨床美術協会 理事)</p> <p>平本 かおり (臨床美術士/板橋区立中根橋小学校 図工専科)</p>
15：50～16：00	事務連絡
16：00	終了
18：00～20：00	懇親会（別会場・オプション）

11月17日（日）タイムテーブル

時 間	内 容
9：30～10：30	研究発表（ポスターセッション形式） ※ポスターセッションのオンライン配信はありません
10：30～11：00	休憩（30分） ※会場のレイアウト変更がございます
11：00～12：20	自主シンポジウム
12：30～12：40	閉会式

※プログラムは変更になる可能性がございます。

11月16日(土) 12:10~13:40

基調講演

旅するムサビと美術教育

講師 三澤 一実
(武蔵野美術大学)

2008年、「旅するムサビ」は中学校美術科教師の研究室来訪から始まった。その教師は「生徒に本物(実物)を見せたいのです」と言った。武蔵美に着任したての私は学生を集め中学校を訪問した。旅するムサビの始まりである。その後、旅するムサビは、対話鑑賞、黒板ジャック、旅ムサステイ(滞在制作)、朝鑑賞などの活動を生み出し、17年間で500回を超えた。

旅するムサビの中核は対話鑑賞である。この活動は学生と学校を訪問し、学生自身の作品を使って児童生徒と鑑賞する取り組みで今まで全国27都道府県と海外2カ国で行ってきた。この活動は子どもたちに生の美術作品を届けると共に、大学と現場教師とのつながりをうみ、教員研修などにもつながった。旅するムサビを続けていると様々な教育問題も見えてくる。その1つはファシリテーション能力の重要性である。ファシリテーション能力とは鑑賞者同士の対話を促し、新たな見方や考え方を導き出し美術鑑賞に限らず現代の社会生活において必須な汎用的スキルであり鑑賞活動で育みやすい。2点目は鑑賞能力の不足である。これはこれまでの美術教育が取り組んでこなかった問題でもありファシリテーション能力の根底を支える。3点目は教育格差である。これは地方や首都圏の経済的、そして文化的な地域格差であるが、一方教師の能力格差でも生じる。中学校では美術の専任教員のいない学校が4割を超えている。そして、4点目はこれらの現代的な美術教育の貧困を改善する可能性である。

現在、朝鑑賞という活動を提案し8年目になる。当初なかなか広がらなかった朝鑑賞もここ数年全国で実践が増えてきた。内容は多くの学校で行われている朝読書の時間を、週1回程度、絵画作品などの鑑賞に切り替える活動である。朝鑑賞では学力や自己肯定感の向上が数値で確認され、長野県の東御市では地域づくり人づくりとして取り組み始めた。鳥取県では全県導入を目指し研修がスタートし、茨城県ではSTEAM教育の核として研修に取り組んでいる。また美術教育の振興を図るべく、各団体を集め全日本美術教育会議の設立も目指している。第1回設立準備会を10月6日に明治学院大学で開催する。

さて、旅するムサビは一部を除き学生の自己負担のもとで展開されている。その経済的な支援としてクラウドファンディングを立ち上げた。これは思いを同じくする人たちの参加で思いを形にして行く取り組みだ。

<プロフィール>

武蔵野美術大学造形学部
教育課程研究室 教授 三澤一実



1963年長野県生まれ

東京芸術大学大学院修了

埼玉県の公立中学校美術科教諭、埼玉県立近代美術館主査、文教大学教育学部准教授を経て、2008年より武蔵野美術大学教授

研究テーマは美術教育、鑑賞教育

武蔵野美術大学着任と同時に「旅するムサビ」を主宰し、学生と全国各地の学校で鑑賞ワークショップや黒板ジャックを展開

2017年に「旅するムサビ」はグッドデザイン賞受賞

近年は旅するムサビから派生した「朝鑑賞」の取り組みを推進

平成20年度版小学校学習指導要領図画工作編作成協力者

平成29年度版中学校学習指導要領美術編作成協力者

主な著書に「美術の授業のつくりかた」2020, 「造形実験」2024, 武蔵野美術大学出版局ほか

11月16日(土) 14:00~15:50

大会シンポジウム

テーマ「新たな社会を共創する臨床美術のコアバリュー」

座長 保坂 遊 (東京家政大学 教授)

臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長)

コメンテーター 三澤 一実 (武蔵野美術大学 教授)

シンポジスト 渡邊 嘉行 (認定非営利活動法人キッズアートプロジェクト 理事長)

濱野 良太 (株式会社博報堂/臨床美術学会・日本臨床美術協会 理事)

平本 かおり (臨床美術士/板橋区立中根橋小学校 図工専科)

趣旨

座長 保坂 遊（東京家政大学）

臨床美術を創設した故金子健二は、「共生の美術」を求め、臨床美術の前身である「ちいさな芸術家のアトリエ」を1977年に創設しました。このことは、彼が当初より「アートと社会との新たな関係性」の創出を希求していたことに他なりません。以降、私たち臨床美術士は医療-福祉-教育-社会の枠組みを超え、アートの力によって様々な人々に内在する創造力を引き出し、その表現を共に尊重しあう関係性を紡いできたといえます。

そして今、臨床美術は「共生から共創」への新たなステージに立っているのではないのでしょうか。共創（co-creation）とは「様々な立場の人々が対話をしながら新しい価値を生み出すこと」と言えます。現代社会が抱える数々の難問に対峙するために、今、人々が目途を一にして共創していけるか、時代を切り開くカギとなるでしょう。

では、臨床美術が共創的な役割を果たすために求められることとは何でしょうか。本シンポジウムでは新たな社会を共創するために臨床美術がどのような“コアバリュー”を位置付け、行動していけばよいか、様々な領域との接点を持つ方々と議論を深めながら考えてまいります。

「コアバリュー」とは、組織や活動の根幹を成す基本的な価値観や信念のことを指します。これらは、その組織や活動の方向性を決定し、行動や意思決定の基準となるもので、「核心的価値」と捉えられます。

臨床美術はこれまで医療や福祉領域において、様々な病気や障がいを抱える方々の心身の諸問題に対してアートを通じたケアの可能性を模索してきました。また、人に内在する感性を引き出すアートプログラムを用いて表出された表現を認め合うことで、個の存在意義の肯定と、他者との共感や理解を深め、多角的な視点と多様性を尊重しあう関係性を促進してきました。こうした活動が人と人とのコミュニケーションを広げ、コミュニティ形成とその醸成を助け、共に生きていく場を築いてきたといえると思います。

更に、アートを用いた創造的な活動により、新しいアイデアの創出、持続可能な社会の実現に向けた問題解決に対する教育活動や啓発活動としての可能性も示唆されます。

これらのことより、臨床美術のコアバリューの要素となるものとして、**1.アートを通じた豊かな感性と創造意欲の伸長 2.医療・福祉としてのケアプログラムの開発と実践 3.自他肯定と多様性を尊重する社会づくり 4.コミュニティの醸成と対話による共創社会の実現 5.創造的思考の促進と次世代教育の啓発 6.持続可能な社会への貢献等**が挙げられるかと思えます。本シンポジウムでは、小児医療、美術教育、地域共創のそれぞれの専門家や実践者とのディスカッションを通して、多角的な示唆を頂きながら、新たな社会を共創するために臨床美術が基底とすべきコアバリューの抽出について、参加者の皆様と考えて参りたいと思えます。

11月17日(日) 9:30~10:30

研究発表(ポスターセッション形式)について

本大会では、本学会の趣旨に沿った臨床美術および周辺領域に関する内容(理論研究、実践研究、調査等)についての研究発表(対面)を一般募集します。

臨床美術学会設立以来、学会員や大会参加者も増加し、研究や実践フィールドも多岐に亘ってきています。本大会の研究発表はポスターセッション形式とし、より多くの学会員、参加者の研究発表・交流の場とします。

<対面参加者の方>

ポスターセッションとは、発表内容をポスターにまとめ、展示・発表する発表形式です。指定された時間の間、研究内容を発表し、座長や参加者と直接的な質疑応答を行い、学術的な見識を深めたり、問題を共有化したり、参加者間の研鑽の機会とします。

ポスターセッションには、以下のような利点があります。

- (1) 展示期間中、参加者は自由にポスターを見ることができる。
- (2) 参加者は、個々の関心に合わせて発表を自由に見て回ることができる。
- (3) ポスターを前に、発表者とギャラリーという少人数で直接、質疑応答ができる。

※ 今年度の研究発表へのエントリーは、対面参加の方に限らせていただきます。

<オンライン参加者の方>

発表者はオンライン参加者に向けて、ポスターセッション内容をデータとして共有していただきます。オンライン参加者には大会当日に事務局からファイル共有サービス通じて、発表内容(オンライン公開用ポスターデータ)をご案内します。

研究発表(ポスターセッション形式)の申込方法については、13ページをご覧ください。

11月17日（日） 11：00～12：20

自主シンポジウム

本大会では、昨年につづき学会員の皆様から広く自主シンポジウムの企画を募集します。自主シンポジウムとは、学会員自らが自主的に、本学会の趣旨に沿った臨床美術に関わるテーマ、司会者、話題提供者、を設定し運営するシンポジウムです。

今大会の自主シンポジウムは、対面及びオンライン形式で実施され、11月17日（日）11：00～12：20の80分間の開催を予定しています。

ぜひ、学会員の皆様方が関心を持つテーマを設けて、参加者間のディスカッションを深めていただけるよう、ご応募いただければと思います。

自主シンポジウムは、司会や話題提供者がそれぞれ発題の内容をパワーポイント等のプレゼンテーションツール(動画含む)にまとめ、Zoomの画面共有にて発表していただきます。開催時間内の進行、話題提供、参加者と質疑応答等は、各企画者が自由にお決めください。また、自主シンポジウムの企画趣旨や話題提供内容は、研究発表概要へ掲載します。自主シンポジウムの申し込み方法については、18ページをご覧ください。

- ・自主シンポジウム申し込み題数により、分科会方式になる場合がございます
- ・また、本大会では会場の都合により題数を制限させていただきます。

11月16日（土） 18：00～20：00

懇親会・情報交換会（オプション）

本大会では、終了後に参加者間交流を目的とした懇親会を開催します。対面で参加される方に限定されますが、皆さまのご参加をお待ちしています。なお、大会会場とは別会場での開催となり、ご参加には別途参加費が必要です。

開催場所： 吉池食堂（御徒町 吉池本店ビル 9F） JR「御徒町駅」前
申込方法：大会参加申込時に選択していただく形で受付いたします。

※最終ページに会場のご案内を掲載しております。

臨床美術学会 第15回大会2024 参加申し込みのご案内

1. 大会参加申し込み方法

(1) 大会参加費（税込）

申込区分	参加費（事前登録のみ）	参加費（学生）
臨床美術学会会員（対面）	11,000 円	3,300 円
非会員（対面）	13,200 円	
臨床美術学会会員（オンライン）	7,700 円	
非会員（オンライン）	9,900 円	

※1日のみご参加の場合でも、参加費は上記のとおりです。

※対面とオンラインそれぞれで参加される場合には、対面の金額が適用されますので、ご了承ください。

例) 学会員で1日目オンライン参加 2日目対面参加 → 11,000 円

※日本臨床美術協会のみにご所属の場合は、非会員の申込区分になります。

参加申し込みの際、臨床美術学会の会員登録の有無を今一度ご確認ください。

(2) 各種参加・申込費

- ・研究発表申込（研究発表資料製作費として）：2,200 円（税込）
- ・自主シンポジウム申込：（会員・非会員共通）：無料
- ・懇親会参加費（会員・非会員共通）： 6,600 円（税込）

(3) 申し込み方法

事前参加登録は、研究発表、自主シンポジウム、懇親会も含め全てオンラインで受付いたします。

臨床美術学会ホームページ「学術大会・イベント情報」ページ内にある参加登録ページにアクセスし、登録画面の必要事項をご記入の上、ご登録ください。

後日、事務局より「参加登録受付」メールを返信いたします。

※メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

事前参加登録申込締切：2024年10月25日（金）

注）本大会では、当日参加受付は行いません。

参加をご希望の方は、必ず期限までに事前参加登録をお願いいたします。

(4) お支払方法

参加登録申込後、ご登録いただきました E-mail アドレスに「参加登録受付メール」が届きます。お支払内容・振込先等をご案内しておりますので、ご確認ください。

各種参加費入金締切：2024 年 11 月 5 日（火）

(5) 参加申し込み内容の変更・キャンセルについて

大会参加費・研究発表参加費（研究発表資料製作費）は返金いたしませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

また、事前参加登録申込後、各種参加費入金締切日までにお支払いがない場合は、キャンセル扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。

(6) Zoom の招待 URL および研究発表概要送付について

入金締切後、ご入金を確認できたオンライン参加をお申込みの方に資料および Zoom 招待 URL をメールにて配信いたします。

メール配信日：11 月 8 日（金）

(7) オンラインでの参加方法について

- ・有線 LAN または Wi-Fi などインターネット接続環境が必要です。
- ・パソコンまたはタブレットなどの機器をご準備ください。
- ・事前に Zoom アプリをパソコンまたはタブレットにインストールしてください。
- ・研究発表者は、カメラ、マイクが必要です。

2. 研究発表（ポスターセッション形式）申し込み方法

(1) お申し込み方法

研究発表申込は大会参加申込時にご選択して頂く形で受付いたします。登録画面の参加オプション「研究発表演題要旨」をご記入の上、登録してください。ご登録いただきました E-mail アドレスにメールが届きます。メールの到着をご確認の上、未着の場合は事務局までお問い合わせください。

研究発表申込締切：2024 年 10 月 7 日（月）

(2) 発表受理確認

登録の際にご入力頂いた筆頭著者の E-mail アドレスに発表受理のメールが届きます。
発表受理の E-mail が未着の際は事務局までお問い合わせください。

≪研究発表（ポスターセッション形式）の申し込みから発表までの流れ≫

●ポスターセッションとは

発表内容をポスターにまとめ、展示・発表する発表形式です。

(1) 発表資格要件

発表代表者は、原則として以下のいずれかに該当する者とします。

- ①臨床美術学会会員
- ②日本臨床美術協会会員
- ③その他、臨床美術実践者等

*②、③の方が発表代表者となる場合は、必ず本学会会員が連名発表者で加わることが条件となります。

(2) 発表に関する制限

発表代表者となる場合、1人1発表に限ります。

連名発表者となる場合は、複数の発表でも構いません。

発表する研究は未発表のものに限ります。

(3) 研究発表申込とその受理

研究発表で発表する代表者は、指定された期日までに「大会事前参加登録申込」「研究発表申込」「大会参加費および研究発表参加費の納入」を行なってください。なお、前述のいずれかに遅れや不備等があった場合、研究発表申込が受理されないことがあります。

(4) 各種準備・提出物の作成

研究発表が受理された後、下記作成・提出物を各期日までにご準備ください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ① 研究発表概要原稿 | 2024年10月18日（金）17：00 |
| ② オンライン公開用ポスターデータ | 2024年11月5日（火） |
| ③ 掲示用ポスターデータ | 2024年11月17日（日） 大会当日持参 |

(5) 研究発表方法

大会当日、研究発表代表者は、指定時間までに受付をお済ませください。

受付を済ませた後、開始時刻までに大会スタッフの指示に従って、会場の指定されたパネルへポスターを掲示してください。

※研究発表（ポスターセッション形式）の正式認定について

研究発表は、「①研究発表概要への原稿の掲載」、「②ポスターでの発表」、「③質疑応答への参加」の3条件を満たすことで正式発表と認められます。そのため、発表代表者は「発表説明責任時間」の間、必ず自分のポスター掲示場所に在席していなければならない、かつ、ポスターは所定の時間、掲示されなければなりません。発表代表者が「発表説明責任時間」に不在の場合など（遅刻等を含む）は、発表が取り消されることがあります。また、「発表説明責任時間」の変更はできません。

(6) 各種データの作成について

① 研究発表概要原稿

発表代表者は、指定された期日までに研究発表論文概要の原稿を提出してください。

発表論文原稿は下記 E-mail アドレスに Word および PDF 形式のファイルを添付しお送りください。研究発表概要に関しては、誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いません。そのまま印刷されますので、送信者の責任において確認してください。

また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れのないよう十分ご確認ください。

原稿の作成及び送付方法については、21 ページからの「**研究発表概要・自主シンポジウム原稿作成／送付要領**」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

研究発表論文集原稿送付締切：2024 年 10 月 18 日（金）17：00（必着）

② オンライン公開用発表データ

大会当日に掲示するポスターの内容をまとめた PDF データを下記 E-mail アドレスに添付しお送りください。

原稿の作成及び送付方法については、24 ページの「**2. オンライン公開用発表データの作成について**」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

オンライン公開用発表データ送付締切：2024 年 11 月 5 日（火）

③ 掲示用ポスター

大会当日に掲示用ポスターをご持参ください。

掲示場所、時間等の詳細は、対象の方に別途おしらせいたします。

ポスターの形については、縦 1800mm×900mm 以内の範囲内であれば、自由な形で作成可とします。掲示スペースに収まる程度の大きさであれば、文章・グラフ・写真・絵などを使用して自由にレイアウトを行えます。ただし、パネルの下部まで最大限に使用すると、発表時などに閲覧しにくくなることを考慮してください。なお、会場には、ポスター掲示に必要な画鋏などを用意いたしますが、予備の模造紙等は用意しておりません。

ポスター作成の詳細については、24 ページの「**3. ポスター作成について**」に従ってください。

(7) 研究発表申込から発表（ポスターセッション）までの流れ

研究発表申し込み締切：2024年10月7日（月）
↓
研究発表論文集原稿送付締切：2024年10月18日（金）17：00（必着）
↓
各種参加費入金締切：2024年11月5日（火）
↓
オンライン公開用ポスターデータ送付締切：2024年11月5日（火）
↓
オンライン公開用ポスターデータ公開：2024年11月16日（土）
発表当日：2024年11月17日（日）
9：00～9：30 会場にて発表受付・ポスター掲示
9：30～10：30 ポスターセッション
参加者への説明、質疑応答

4. 自主シンポジウム申し込み方法

(1) 申し込み方法

自主シンポジウム申込は、大会参加申込時に選択して頂く形で受付いたします。登録画面の参加オプション「自主シンポジウムタイトル・要旨・企画者・司会者・登壇者」をご記入の上、登録してください。

- ・自主シンポジウム企画を申し込まれる場合は、企画者がお申し込みください。

自主シンポジウム申込締切：2024年9月30日（月）

(2) 自主シンポジウム受理確認

申し込み内容は、大会本部にて確認します。「申込受理」となりましたら、企画者の E-mail アドレスに申込受理のメールが届きます。申込受理の E-mail が未着の際は事務局までお問い合わせください。

なお、本大会では会場の都合により、発表題数を制限させていただきます。

《自主シンポジウムの申し込みから発表までの流れ》

●自主シンポジウムとは

企画者またはそのグループによって、申込者自らがシンポジウムのテーマを設定し、司会者、登壇者、運営方法の一切を自由に企画し、開催する自主シンポジウムです。

司会者や話題提供者は発表内容をパワーポイントなどのプレゼンテーションツール（動画含む）にまとめ、資料を提示しながら、話題提供やディスカッション、参加者からの質疑応答を行うなど、指定された時間内で自由に進行していただきます。

(1) 自主シンポジウム資格要件

企画者は、原則として以下のいずれかに該当する者とします。

- ・臨床美術学会会員

司会者（企画者と異なる場合）、話題提供者などの登壇者

- ① 臨床美術学会会員
- ② 日本臨床美術協会会員
- ③ その他、臨床美術実践者等

(2) 自主シンポジウムに関する制限

1 人の企画者（またはそのグループ）として応募できるシンポジウムは、1 件に限ります。

話題提供者となる場合は、応募が重複しても構いません。

(3) 自主シンポジウム申込とその受理

企画者は、指定された期日までに「大会事前参加登録申込」「自主シンポジウム申込」「大会参加費の納入」を行なってください。なお、前述のいずれかに遅れや不備等があった場合、自主シンポジウム申込が受理されないことがあります。

(4) 研究発表概要原稿

発表代表者は、指定された期日までに自主シンポジウムの原稿を提出してください。

自主シンポジウム趣旨・話題提供等の原稿は、**登壇者すべての原稿を企画者が取りまとめ**、下記 E-mail アドレスに Word 形式のファイルを添付してお送りください。原稿内容に関しては、誌面上のレイアウト調整以外の誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行ないませんので、送信者の責任において確認してください。また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れの無いよう、十分ご確認ください。

原稿の作成及び送付方法については、26 ページからの「**自主シンポジウム 原稿作成／送付要領**」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

自主シンポジウム原稿 送付締切：2024 年 10 月 18 日（金）17:00（必着）

(5) 発表データ作成について

大会当日の自主シンポジウム発表データは、「研究発表論文・自主シンポジウム原稿作成／送付要領」の内容に照らし合わせて、パワーポイントほか類似するプレゼンテーションツールで作成してください。映像、動画なども用いて構いません。参加者へ内容がより伝わるよう創意工夫をしてください。

自主シンポジウムは登壇者自身で PC 等を操作して行ってください。事前に必ず Zoom ミーティングにて画面共有が可能か、ご自身で動作確認をしてください。

(6) 自主シンポジウムの開催方法

本大会では自主シンポジウムの企画者は原則対面参加とします。

大会当日、企画者、司会者、登壇者は、指定された開催時間に事務局の指示に従い、Zoom にて画面共有を使用して、対面及びオンラインで開催してください。シンポジウム開催の持ち時間は1題につき、80分となります（自主シンポジウム開催責任時間）。

開催方法の詳細は申込受理後、追ってご連絡いたします。

(7) 自主シンポジウム申込から開催までの流れ

自主シンポジウム申し込み締切：9月30日（月）
↓
自主シンポジウム受理確認 メール発信：随時
↓
自主シンポジウム原稿送付締切：10月18日（金）17：00（必着） 企画者が全ての登壇者の原稿を取りまとめ、提出してください。
↓
各種参加費納入締切：11月5日（火）
↓
臨床美術学会 第15回大会2024 自主シンポジウム 11月17日（日） 11：00～12:20

研究発表概要原稿／送付要領・ポスター作成要領

1. 研究発表概要原稿について

研究発表概要原稿は、Word 等の文書作成ソフトで作成(A4、1枚に印刷されることを想定して作成)し、PDF ファイル形式にて、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までお送りください。

ご希望の方には、基本レイアウトに沿ったフォーマットデータをお送りします。研究発表論概要原稿を送信する際には、PDF ファイル形式で作成しお送りください。論文は、送信された PDF ファイルをそのまま使用して作成します。原稿ファイルを送信する前に必ず印刷をおこない、文字化けや文字つぶれ等がないことをご確認ください。なお、登録した原稿を修正(差し替えを含む)することは一切できませんので、ご注意ください。原稿全般に関してご不明な点があれば、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までご連絡下さい。

(1) 用紙

- ・1題の研究発表につき、A4 サイズ 1 ページに限る。
(必ず 1 ページに収めてください)
- ・横書きとして、背景は無地とする。
- ・上下左右各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の作成

- ・ページ上部に、発表タイトル(副題)・発表者氏名(所属)を大きく示す。
- ・発表タイトルと発表者氏名(所属)の下からは2段組で本文を書く。
- ・図表は本文内に掲載し、図表が要旨集原稿の40%以下になるようにする。

(3) 「発表タイトル・発表者氏名(所属)」について

A.発表タイトル

- ・ゴシック系フォント・中央揃え・要旨集原稿の中で、最も大きいフォントサイズ(12～14pt)とする。
- ・発表申込み時の研究発表タイトル(発表タイトルにはサブタイトルも含む)を記載する。
- ・サブタイトルは原則として改行して記載しフォントサイズは発表タイトルのサイズより小さくする。

B.発表者氏名(所属)

- ・明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ(12pt)とする。
- ・連名発表者がいる場合、筆頭発表者の氏名の前に○印をつける。
- ・所属は氏名に続けてカッコ内に記載する。

(4) 本文について

- ・発表タイトル・発表者氏名(所属)下を1行あけ2段組で作成する。段組の間隔は約2文字分あける。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ(10~10.5pt)とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・本文中の図表数に制限はない。ただし要旨集原稿に占める図表の面積は40%以下とする。
- ・印刷した際に見やすいものとする。

(6) 書式

- ・書式については作成要領を守っていることを前提として、細部については発表者の判断に任せる。ただし、読みやすさを最優先して作成すること。

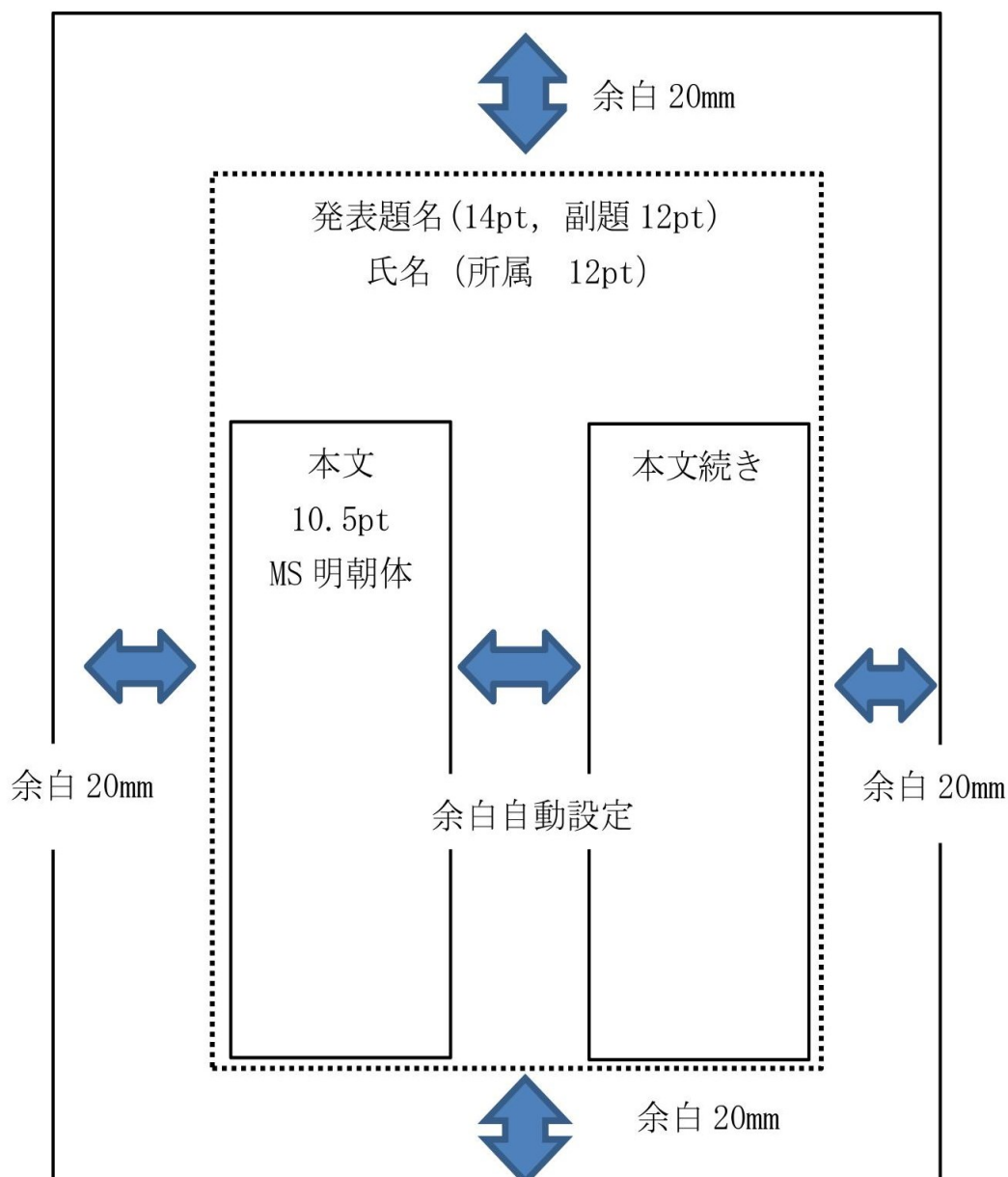
(7) その他

- ・原稿は所属先の研究倫理規定・倫理指針等に従い作成すること。
特に次の3点には注意すること。
 - 1 研究協力者がいる場合、事前に発表の承諾を取ること。
 - 2 研究協力者の人権に十分配慮していること。
 - 3 他の研究者などの文献から引用がある場合は出典を明記すること。
- ・原稿作成時、特に写真を用いる等の場合は、個人情報やプライバシーの保護に努め、
予め発表について対象者の了承を得るか、個人が特定できないように表現には十分留意
すること。

研究発表概要 原稿作成レイアウト

下記の図に従って作成してください。規定外の原稿は受理できませんのでご了承ください。また、送付された原稿はそのまま印刷しますので、一度提出された原稿の修正、取り下げ及び返却はできませんので、提出の際は十分ご注意ください。

原稿作成レイアウト【図】 A4 1 ページ



2. オンライン公開用発表データの作成について

オンライン参加者に向けて、ポスターセッション内容をデータとして共有いたしますので、オンライン公開用の発表データについて以下を参考に作成してください。

- (1) オンライン公開用発表データは、ポスター発表データ（当日用）を pdf データにするか、同等の内容をパワーポイント、ワード等で制作したものを、pdf データにして提出してください。
- (2) データの枚数等に制限はありませんが、総データサイズは 50MB 以下としてください。提出方法については申込受理後、事務局より連絡いたします。
- (3) 大会参加者へは pdf データとして閲覧のみの公開とします。（ダウンロード不可）今大会では、動画データでの公開は不可とします。
- (4) 公開は、大会参加者のみに限定されますが、発表で取り扱う個人情報・著作権の取り扱いについては、発表者が責任を持って十分な倫理的配慮に努めてください。

3. ポスター作成について

研究発表（ポスターセッション形式）は、研究発表論文の要旨に沿った内容とし、発表者は当日掲示するポスターについて以下を参考に作成してください。

- (1) サイズ縦 1800mm×横 900mm 以内
- (2) タイトルは太く、大きな文字で記載。必ず発表者名（所属）を記載。共同研究など連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付ける。
- (3) 文字、フォントは見やすいものであればよく、発表者の自由とするが、1 文字は 1 センチ以上の大きさを推奨する。色を付ける、強調する、太字などを活用し視覚的效果を図る。
- (4) レイアウト、文字、図表の工夫した配置を意識する。
- (5) 簡潔に表現する。（限られたスペース内におさめ、発表者がいなくても見ればわかるように）

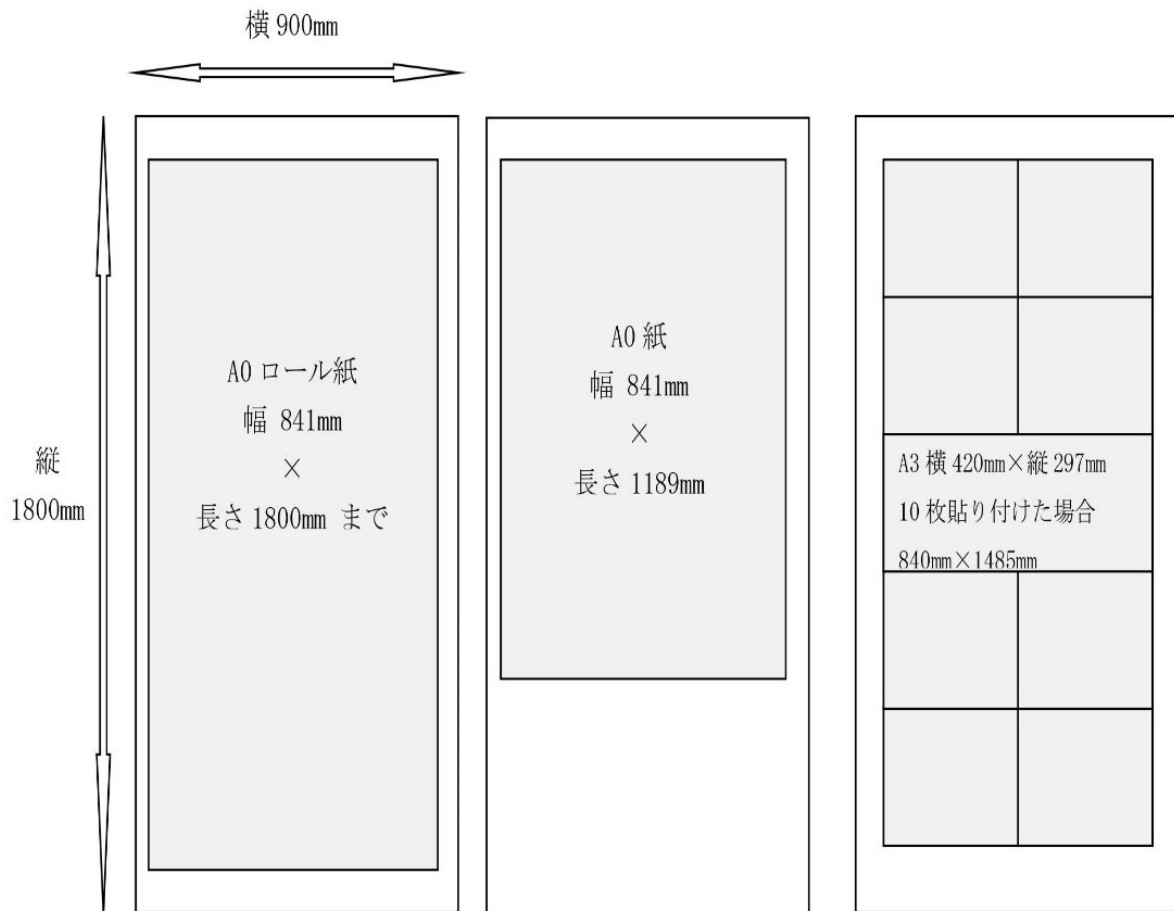
ポスター作成例

大判印刷
A0 ロール紙に印刷

大判印刷
(A0 紙に印刷)

A3 用紙に印刷

ポスター貼り付け可能サイズ



自主シンポジウム 原稿作成／送付要領

自主シンポジウムの趣旨および話題提供等の原稿は、Word の文書作成ソフトで作成(A4 印刷されることを想定して作成)し、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までお送りください。

ご希望の方には、基本レイアウトに沿ったフォーマットデータをお送りします。

原稿を送信する際には、**各自主シンポジウムの企画者が、すべての登壇者の原稿を取りまとめた上、お送りください。**

原稿内容に関しては、誌面上のレイアウト調整以外の誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いませんので、送信者の責任において確認してください。

また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れのないよう、十分ご確認ください。

原稿全般に関してご不明な点があれば、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までご連絡下さい。

(1) 用紙

- ・1件の自主シンポジウムにつき、趣旨、話題提供を含めて A4 サイズ総数 5 ページ以内に限る。
- ・横書きとして、背景は無地とする。
- ・上下左右各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の作成

- ・ページ上部に、シンポジウムテーマ（副題）・企画者・司会者・登壇者氏名（所属）を大きく示す。
- ・テーマと登壇者氏名（所属）の下からは 1 段組で本文を書く。

(3) 「シンポジウムテーマ・登壇者氏名(所属)」について

A. テーマ

- ・ゴシック系フォント・中央揃え・要旨集原稿の中で、最も大きいフォントサイズ(12～14pt)とする。
- ・申込み時のシンポジウムテーマを記載する。
- ・サブタイトルがある場合は、原則として改行して記載しフォントサイズはテーマのサ

イズより小さくする。

B.企画者・司会者・発表者氏名(所属)

- ・企画者と司会者が同一の場合は、「企画者・司会者」と記す)
- ・明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ(12pt)とする。
- ・所属は氏名に続けてカッコ内に記載する。

(4) 本文について

- ・1 ページ目には企画者がシンポジウムの趣旨を記載する。
- ・以後、ページごとに登壇者の話題提供概要をまとめ、ページ上部に登壇者（執筆者）の氏名（所属）を記載する。
- ・図表は本文内に掲載し、原稿の40%以下になるようにする。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ(10~10.5pt)とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・本文中の図表数に制限はない。ただし要旨集原稿に占める図表の面積は40%以下とする。
- ・印刷した際に見やすいものとする。

(6) 書式

- ・書式については作成要領を守っていることを前提として、細部については発表者の判断に任せる。ただし、読みやすさを最優先して作成すること。

(7) その他

- ・原稿は所属先の研究倫理規定・倫理指針等に従い作成すること。

特に次の3点には注意すること。

- 1 研究協力者がいる場合、事前に発表の承諾を取ること。
- 2 研究協力者の人権に十分配慮していること。
- 3 他の研究者などの文献から引用がある場合は出典を明記すること。

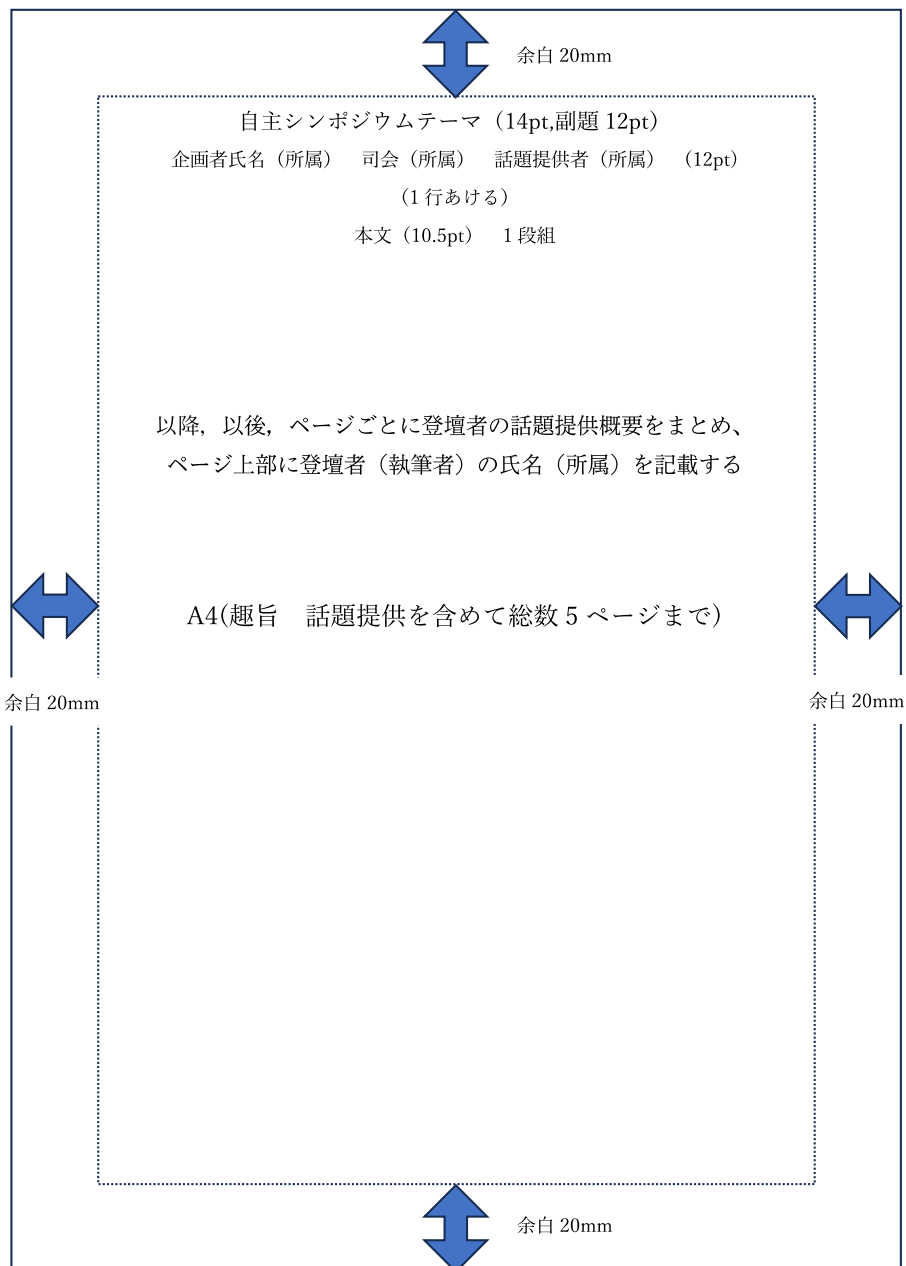
- ・原稿作成時、特に写真を用いる等の場合は、個人情報やプライバシーの保護に努め、予め発表について対象者の了承を得るか、個人が特定できないように表現には十分留意すること。

自主シンポジウム 原稿作成レイアウト

下記の図に従って作成してください。規定外の原稿は受理できませんのでご了承ください。また、一度提出された原稿の修正、取り下げ及び返却はできませんので、提出の際は十分ご注意ください。

自主シンポジウム 原稿レイアウト【図】

A4(趣旨 話題提供を含めて総数 5 ページまで)



【 大会懇親会・情報交換会（オプション）のご案内 】

対面でご参加いただける方に限定されますが、当日ご登壇いただいた先生方を交えて、参加者間の交流の場として下記の通り懇親会を開催いたします。大会参加申し込み時に、あわせてお申し込みください。多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時： 11月16日（土）18:00～20:00

場 所： 吉池食堂（御徒町 吉池本店ビル 9F） JR 御徒町駅前

会場は大会とは別会場となり、少し離れた場所になりますが、移動途中、メイドインジャパンの「ものづくり」をテーマとしたアトリエショップが並ぶエリア（2k540 AKI-OKA ARTISAN）が高架下にあります。開催までのお時間は散策もお楽しみいただけます。



【 お問い合わせ先 】

臨床美術学会事務局

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂 1-9-3

Shonan Eminence 3F

電話番号：050-6861-7227

FAX 番号：050-3537-8633

E メール：gakkai@arttherapy.gr.jp